

令和2年6月18日

上越市議会議長 飯塚 義隆 様

災害対策特別委員会
委員長 橋本 洋一

避難所における新型コロナウイルス感染症対策に関する提言書

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、上越市としては、適時、市民へのメッセージを発信しながら取組を進めてきたところであるが、今後、第2波、第3波の感染拡大も懸念される状況にある。

こうした中、梅雨や台風などで水害が起こりやすい時季を迎え、災害時の住民避難が新型コロナウイルスの感染拡大につながらないよう最大限の配慮が必要と考える。

については、感染防止と市民の安全確保の観点から、委員会として下記のとおり提言としてまとめましたので、ご報告いたします。

記

1 避難所の開設と密集状態の緩和

避難者を一か所に集中させないよう可能な限り多くの避難所を開設し、早急に住民に周知すること。また、住民避難に際しては、状況に応じて自宅にとどまる、親戚、友人宅への避難を呼びかけるなど、避難所における密集状態の緩和を図ること。

2 高齢者など要配慮者の避難先の確保

感染による重症化のリスクが高いとされる高齢者、災害弱者といわれる障害者、乳幼児などの要配慮者には、県と連携して旅館、ホテルなどの避難先を用意し、分散避難を呼びかけること。なお、福祉避難対象者(重度の障害等ある方)は所定の福祉避難所へ避難させること。

3 感染防止に配慮した避難所運営に努めること

避難者の手指の消毒、避難所の換気、清掃を徹底するとともに、避難者間のスペースを十分にすること。必要に応じて段ボールベッドや段ボール間仕切りを設置すること。さらに、体調不良者は別室を用意し、出入り区域を分けること。

4 市民への周知

新型コロナウイルスの感染を恐れるあまり、市民が避難を躊躇することはあってはならない。迅速かつ的確に命を守る行動がとれるよう、避難方法や避難時の留意事項などについて、あらゆる広報媒体を使って周知すること。

5 避難所対応職員のスキルアップ

避難所の運営が適切に行われるよう職員研修や町内会役員、防災士との協議を行うなど、避難所対応職員のスキルアップを図ること。

以上